

## 平成27年度 第2回青森市民図書館協議会 会議概要

- 1 日 時 平成27年11月18日(水) 午後14時～午後15時30分
- 2 場 所 青森市役所柳川庁舎2階大会議室
- 3 出席委員 西村勝文、工藤真奈美、川越浩司、倉内千恵子、大坂美保、秋元美香子、中園裕、熊谷せい子、秋谷進、清藤正道
- 4 事務局出席職員 館長 渡邊薫、室長 工藤大輔、主幹 須藤裕二、主幹 村上泰子、主幹 時田裕之、主任司書 菅谷悦一、主任司書 佐々木久子、主事 村上純子、主事 田崎鈴、指導課 主幹兼主任指導主事 原子雄治
- 5 次第  
第2回青森市民図書館協議会
  - (1) 開会
  - (2) 会長あいさつ
  - (3) 報告事項  
・青森市民図書館の概要及び今年度の取組について
  - (4) 協議事項  
・「(仮称)青森市教育振興基本計画素案(市民図書館該当部分)」について
  - (5) その他
  - (6) 閉会
- 6 会議の概要(発言の要旨)

○報告事項 ・青森市民図書館の概要及び今年度の取組について  
資料「3 報告事項 青森市民図書館の概要及び今年度の取組について」により、事務局より説明

### 質疑応答

主な質疑応答は以下のとおり

(委員) 行事を計画・企画する上で、自由に使えるスペースが必要だと考える。図書館の規模を紹介しているが、自由に使えるスペースは他にあるのか。

(事務局) 25～30人程度の規模だが、8階の会議室2を活用している。自主事業だけでなく、図書館で実施することが相応しい事業も受入れていこうと考えており、現在は県立美術館の「県美土曜ゼミ」の利用にも供している。

(委員) 6/27開催のビブリオバオルはとても盛り上がったようだが、今後も開催の予定があるのか。

(事務局) 今後の開催予定は未定。今回の開催で明の星短大の皆さんに協力いただいたことや、南中学校でも開催予定であり当館司書が支援することを踏まえると、学校単位での開催への支援等・やり方の工夫も含めて検討する。

○協議事項 ・「(仮称)青森市教育振興基本計画素案(市民図書館該当部分)」について  
資料「4 協議事項 「(仮称)青森教育振興基本計画」について」により計画の概要  
及び図書館関連施策(施策10、11、14)について事務局より説明

**質疑応答**

主な質疑応答は以下のとおり

(会長) 中高校生となると、図書館は勉強する場としての利用が多く、読書まで進まない状況と思われる。

(事務局) 指摘の通り、中高校生の勉強する場としての図書館利用は多い。勉強の合間に本に目を向けてもらうための取組を始めており、図書館に勉強に来ている方向けに、本の紹介の貼り紙を6階(ヤングアダルトライブラリー)の随所に掲示している。また、中学生向けの図書館利用啓発のチラシを作成し、全中学生に配布するとともに、毎月の新刊リスト・教科書に載っている本のリストを各学校にメール・スクールポータルでお知らせすることとした。

**意見**

- ・専門用語が多いが、注釈等で噛み砕いた内容となっているため、市民に届きやすいと思う。
- ・資料55p一番下の部分について、学校は学校で努力はすべきところではあるが、それだけでなく、読書活動のボランティアの協力を得る・図書館司書による支援というところが折り込まれていて良い。
- ・現在、歴史を振り返る人が増えてきているため、歴史の講座はとても人気がある。施策10-3 施策の展開③④に関わる部分として、専門家等の人員を手厚くする、もしくは専門的な知識を持った人(嘱託・委託・県史関係等)を活用できるシステムづくりが必要である。
- ・今、地域の図書館で一番必要とされていることは地域資料をたくさん収集しておくことである。特に高齢の方々がもっている蔵書・資料の探求を通じて地域に残された資料を収集してほしい。
- ・市民図書館独自の地域資料として、新聞のジャンル別のスクラップを作成し、閲覧できるようにするとよい。
- ・年代に合わせた講座があればよい。
- ・計画に関しては、全て網羅されており、良い取組目標である。あとは、これを実行・具現化・継続してほしい。
- ・イベント開催に関しても効果を見ながら取捨選択をし、無理のない人員で継続するのが重要と思う。

(事務局)

- ・施策10-3 施策の展開③④に関わることとして、専門職員の強化についてご意見をいただいた。施策の展開③において、図書館司書など専門的知識を持った職員の体制強化に努めることを記載しているが、「司書など」の「など」には、学芸員等も含め必要な専門的知識を有している人を含むものとして捉えており、ご意見はここで吸収させていただきながら、この中でどのように取り組んでいくのか、ご意見を参考に考えていきたい。
- ・第1回協議会で、子どもの読書に関する施策(子ども読書活動推進計画に当たる部分)を教育振興基本計画に入れ込むとともに、子どもの読書に関する全体像を示す(仮)指針をつくりたいとしていた。子ども読書活動推進計画の内容、ボリュームを教育振興基本計画のひとつの施策に入れ込むことができるかということがあったからだが、今般内容を整理しコンパクトに入れ込むことができたことから、当初示していた指針案のようなものではなく、教育振興基本計画から子どもの読書に関する部分を取り出しわかりやすく見ることができるもの、アクション(取組内容)がわかるようなものとして整理してはどうかと検討している。

会議終了